

産業建設常任委員会記録

平成30年12月10日

【開催日】 平成30年12月10日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時43分～午前11時14分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	岡山明
委員	奥良秀	委員	河崎平男
委員	水津治	委員	中岡英二
委員	藤岡修美		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
傍聴議員	長谷川知司	傍聴議員	森山喜久
傍聴議員	山田伸幸		

【執行部出席者】

副市長	古川博三	経済部長	河合久雄
公営競技事務所 長	上田泰正	公営競技事務所 副所長	大下賢二
公営競技事務所 主任主事	長村知明		

【事務局出席者】

局長	中村聡	書記	光永直樹
----	-----	----	------

【付議事項】

- 1 所管事務調査 小型自動車競走場スタンド棟等整備事業について

【議事の概要】

○平成30年12月6日の産業建設常任委員会にて簡単に説明した、小型自動車競走場スタンド棟等整備事業の基本設計、実施設計について、比較検討を行った3つの案（A案～C案）を詳細に説明する。

1 東西スタンドの耐震化工事について比較検討した3つの案のメリットとデメリット

(1) A案・・・耐震改修をする。

ア メリット

- ・初期費用が安い。

イ デメリット

- ・改修後も維持管理のため、費用が必要。
- ・不要な部屋が多く残る。
- ・耐震改修しても建物自体の減価償却年数を超過していく。
- ・ランニングコストが最も高い。

(2) B案・・・既存の東西スタンドを解体し、東スタンドを新設する。

ア メリット

- ・全面改築でスタンド部分を一新する。

イ デメリット

- ・地下部分の電気設備の切替え等の問題が残る。
- ・解体面積が大きくなる。

(3) C案・・・東側スタンドを解体し、コンパクトな施設を新設。

西側スタンドは1階部分を残す、減築工事をする。

ア メリット

- ・ランニングコストを含め、トータルで最も費用対効果がある。
- ・地下部分の電気設備の切替えがスムーズにできる。

イ デメリット

・特になし

2 工事費及び10年間のランニングコストについて

(1) A案・・・18億9,423万円

内訳：工事費14億6,423万円、ランニングコスト4億3,000万円

(2) B案・・・21億8,103万円

内訳：工事費18億7,101万円、ランニングコスト3億1,000万円

(3) C案・・・18億5,972万円

内訳：工事費15億5,472万円、ランニングコスト3億500万円

○3つの案を比較検討した結果、最も費用対効果が高いC案を採用する。

【主な質疑】

河崎平男委員 先日の委員会で資料を出して、説明すべきではなかったか。

上田公営競技事務所長 他の補正の内容が多くあったが、この意思形成に係る経緯も説明すべきだった。

岡山明副委員長 累積債務の返済計画を出される予定はあるか。

上田公営競技事務所長 この部分を含めて、3月定例会の中で示せると考えている。

中村博行委員長 C案の財源について、具体的にどのくらい補助があるのか分かれば教えてほしい。

上田公営競技事務所長 今の基準でいくと、約3億5,000万円と聞いている。

岡山明副委員長 ミッドナイトレースに使用する照明も、この案に含まれているのか。

上田公営競技事務所長 この案には、ミッドナイトレースに関係するものは入っていない。

中村博行委員長 他場も耐震化の時期に来ていると思うが、その状況について。

上田公営競技事務所長 浜松場、川口場、飯塚場も解体、新設することとなっている。伊勢崎場は民間業者が施設を持っているが、一昨年辺りからい

ろいろ改修しているため、耐震化はできているのではないかと考えている。

藤岡修美委員 空調、電気設備改修のランニングコストの比較において、A案、C案は単価に面積を乗じたものになっているが、B案だけ、単価に10年を乗じて積算されている。この考え方の違いについて教えてほしい。

長村公営競技事務所主任主事 B案は全て解体して、新設するというので、10年間を乗じている。A案とC案は改修部分を含めているため、面積を乗じている。

午前11時14分 散会

平成30年12月10日

産業建設常任委員長 中村博行